

——ガウスメーターの点検校正用として高い安定性を実現——

TSM型標準磁石



アキシアル用



トランスバース用



収納ケース（2個用）

- 本標準磁石は、非常に高効率の磁気回路と高い工作精度により、小型でありながら強い空隙磁界を得ることが可能です。
- アルニコ磁石の採用により、温度特性や経年変化による影響が非常に少なく、高い安定性を有します。また、外部に漏洩する磁界もほとんど無いため、保管も容易です。

型 式	TSM-＊A（＊は発生磁場）	TSM-＊T（＊は発生磁場）	TSM-特殊仕様
対 応 す る ホールプローブ	当社ガウスメーターカタログに記載の アキシアルタイプホールプローブ	当社ガウスメーターカタログに記載の トランスバースタイプホールプローブ	別途ご相談下さい。
挿入口のサイズ	φ5.1 mm	W4～6 mm×H2～2.5 mm	別途ご相談下さい。
発 生 磁 場	5mT～100mT	100mT～300mT	別途ご相談下さい。
使用温度範囲	21℃±2		
成 績 書	標準添付（ただし公的機関原器とのトレーサビリティ証明書類はオプション）		
寸 法 / 重 量	50φ×41mm(50mT)	55φ×57mm(100mT)	製作仕様によります。
ラ イン ア ッ プ	ガウスメーターの測定レンジに合わせて5/10/20/50/100mTの各 レンジ校正用をラインアップしております。		特注製作致します。ご相談下さい。 (トランスバース用のみ 300～1000mT)



ガウスメーター用標準磁石 取扱説明

- ①地磁気の影響の少ない場所で、非磁性材（木や樹脂）の机上にガウスメーター及びホールプローブ（以下、機器と称する）をセットし、30分以上エージングします。
- ②室温及び標準磁石内の温度が、標準磁石の試験成績書に記載の室温範囲で安定していることを確認します。
- ③ホールプローブに付属のゼロ調整用キャップをかぶせ、機器のゼロ調整をします。
- ④標準磁石のプローブ挿入口に、ホールプローブをまっすぐにゆっくりと、突き当たるまで挿入します。突き当たる少し手前くらいの位置で、磁力のピーク値となります。そのピーク値を読み取ります。
- ⑤ホールプローブをゆっくりと引き抜きます。
- ⑥測定誤差を考慮し、上記③～⑤の動作を数回繰り返し、機器の校正と精度確認をします。
- ⑦標準磁石の試験成績書（貼付ラベル）に記載の磁力値は、当社にて上記手順にて校正を実施した際の、上記③～⑤を10回繰り返した時の最大値を記載しています。試験成績書（貼付ラベル）に記載の数値から精度的に外れる場合は、ガウスメーターまたはホールプローブの不調が考えられます。当社まで点検や修理校正を依頼してください。

使用および保管上の注意

- ①地磁気以上の磁界が発生している場所に保管しないでください。また、外部に強い磁界が発生する機器を近づけないでください。標準磁石の磁力値が変化することがあります。
- ②電磁軟鉄材などの錆びやすい材料を多用しているため、湿度や水濡れに十分注意し保管してください。
- ③標準磁石の落下など、強い衝撃を与えないでください。衝撃により内部の磁石の位置がずれ、磁力値が変化することがあります。
- ④本標準磁石は、上記要因や経年変化により磁力値が変化することがあります。定期的に校正に出すことをお勧めします。

